

深町魅力プロジェクト！

～深町のよさを伝えよう～

日時：10月31日（月）第5校時

学年・学級：4年（5名）

指導者：太田 陸

育成をめざす資質・能力：主体性 思考力・判断力 表現力

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

深町は、医王山や藤井川等様々な自然に囲まれた自然豊かな町である。近くには三原駅と学校を結ぶ路線バスや、高速道路があり交通の便もいいと言える。また、深町は果樹の名産地として三原近郊で知られている。西条柿を使った干し柿や桃が有名である。

そこで本単元では、深町で育てていることは知っているけど、詳しくは知らない桃や柿、ぶどう等の特産物をテーマにする。さまざまな「人・もの・こと」と触れ合う体験活動を通して、深町の魅力や課題を知り、疑問や気付きを基に課題を設定し、課題を解決していくために多様な他者と協働し、多角的な視点から自分（たち）にできることを考え、実行する姿を引き出したい。そして、地域の魅力を発信する活動を通して、地域住民も巻き込んで深町の魅力を社会に発信していきたいと思えるようにしたい。さらに、深町を愛し、深町の未来を創る児童を育成していきたい。

児童の実態

本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間において、深町に落ちているゴミから、環境問題に目を向け、自然豊かな深町を住み続けられる町にしていくために、地域・学校・家庭で自分たちができることを考える活動を通して、自分たちの思いや願いを叶えるために行動することで、主体性や協働性を育んできた。また、コロナ渦で交流が難しい地域の特別養護老人ホームのお年寄りに何ができるか考え、季節を感じられる大きな絵や花、メッセージを分担して作り、届けることで、郷土愛を深めてきた。

9月のアンケート調査では、主体性に関する問いで90%、思考力・判断力に関する問いに対して100%の児童が肯定的な回答をしている。一方で、表現力に関する問いに対しては、肯定的な回答をした児童が60%にとどまっており、課題が見受けられる。また、どの項目に対しても強い肯定を示している児童は少なく、あまり自信がもてない児童が多くいることが窺えた。

学習の題材

本題材では、地域の活性化をテーマとして学習に取り組んでいく。仮の探究課題として、「自分たちが住んでいる深町のいいところを調査しよう。」とし、地域のさまざまな「人・もの・こと」と出会い、調べたりインタビューをしたりすることで、多面的に捉えながら地域社会の理解を深めていく。その中で、地域の人口減少や人口比から深町の諸問題に気付かせたり、地域住民でも地域の魅力をあまり知らない現状をとらえさせたりすることで、問題を解決するために真の探究課題（本質的な問い）を設定させる。このような課題解決の過程の中で、目的や意図に応じて情報を収集、整理し、要因などを予測しながら論理的に考えたり、解決策等、自分の考えを主体的に表現したりする力を高めることができる題材である。

単元の目標

地域の「人・もの・こと」について調査したり、問題の解決策について考え、実行したりする活動を通して、さまざまな問題の解消に向けて自分たちにもできることがあることを理解し、多角的な視点から、対策について考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

（1）総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

保護者や地域の方、市役所や農家の方から話を聞いたり、インターネットや新聞記事、本を参考にしたりして、深町の魅力や課題を捉えられるようにする。

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

新たな見方・考え方を働かせる「人・もの・こと」と出あうことで、児童は自己の生き方を省察し、より多角的な視点で持続可能な自己の生き方を考えさせられるようにする。単元前半では深町にあるものについて交流し、知ってはいるけど詳しくは知らない深町の特産物や藤井川について調査し、新聞等にまとめる。後半では、地域の魅力があまり知られていないことや地域の課題について触れることで、自分たちにどのようなことができるかを考え、少しでも多くの人に地域の魅力を発信する活動を通して、自己の生き方を考えることにつなげていく。

(2) カリキュラム・マネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「たしかめながら話を聞こう」、「みんなで新聞を作ろう」、「言葉で考えを伝える」、「お願いやお礼の手紙を書こう」等

地域の人や関連した人へのインタビューや友達との話し合い、調べたことをまとめる学習について国語科での指導を総合的な学習の時間に生かす。

○社会科…「わたしたちの県」、「特色ある地域と人々の暮らし」等

自分たちが住んでいる町や市の様子や、住みよい暮らしを支えている仕事や施設についての調べ学習を通して、自分たちにできることへの考えるきっかけに活用する。

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

本学級の児童は、昨年度からタイピング学習を始め、ICT 機器の活用に慣れ、比較的不自由なく操作できる技能を身に付けてきている。一方で、インターネットでの調べ活動は意欲的に行うことができるが、目的のない調べ活動になってしまったり、調べたい情報とそうではない情報との区別がつかず、様々なところに拡散しすぎて時間を無駄にしてしまったりする場面がある。そのため、「魅力がより伝わる発信の仕方を学習するために、様々なパンフレットを調べる」のように、「何のために何を調べるのか」という調べ活動の目的を明確にすることで、知りたい情報を的確に調べられるようにする。現時点での活用計画は以下の通りである。

- ・課題の設定…分かっていること、知りたいことを確認するため、大型テレビで写真や動画を視聴する。
- ・情報の収集…インターネットの検索機能を活用して調べ学習を行ったり、Google フォームを用いてアンケートをとったりする。個人やグループでの情報の収集や情報の共有を円滑に進めるために、ドキュメント、ジャムボードを活用する。対面での接触が難しい場合は、ミートを活用したオンライン交流を行う。
- ・整理・分析…視覚的に分かりやすく整理・分析できるよう、ジャムボードを活用する。
- ・まとめ・表現…必要に応じてスライドやミートを活用し、成果物を作成したり、成果を発表したりする。

○思考ツール

本学級の児童は、総合的な学習の時間、道徳科、学級活動等の学習の中で、思考ツールを活用している。比較場面では、「ベン図が使えるかも。」等の意見が増えつつあるが、現段階では、学習の目的に合う場面で教師が提示した思考ツールを楽しみながら活用し、思考ツールの良さを感じられるように、以下の場面で活用する。

- ・地域の「人・もの・こと」を分野ごとに分類する場面…XY チャート
- ・地域の方に聞きたいことを焦点化する場面…ピラミッドチャート
- ・地域の魅力を理由付けて思考する場面…クラゲチャート
- ・2つの観点から意見を分析する場面…座標軸
- ・成果物の出来を評価する場面…PMI シート

3 単元の評価規準

(1) 内容のまとめりごとの評価規準




※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準		
		1 深町魅力プロジェクトⅠ	2 深町魅力プロジェクトⅡ	
知識・技能	知識	探究テーマに関する知識を関連付けて構造化し、統合化された概念として理解している。		
	技能	探究の過程における課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。		
	探究的な学習のよさの理解	学習と生活のつながりを意識し、学習を振り返ることで、探究的な学習のよさを理解している。		
思考・判断・表現	「課題の設定」	思考力・判断力	自分の関心から地域についての問いをもち、課題を設定している。また、解決方法を考えて追究している。	解決への方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。
	「情報の収集」		本やインターネット等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集している。	蓄積した情報の評価し、足りない情報を収集している。
	「整理・分析」		目的に合う方法で筋道立てて思考し、情報の共通点や相違点を見つけ、特徴を明らかにしている。	相手や目的に応じて、情報を精査している。 事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を表現している。
	「まとめ・表現」	表現力	相手や目的に応じて、効果的な表現をしている。	
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解		活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。	
	主体性・協働性	主体性	自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決をしようとしている。 自他の意見を大切にし、よりよい解決に向けて、自分にできることを見つけて行動しようとしている。	
	将来展望・社会参画		実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。	

(2) 子どもたちが考えた「子どもルーブリック」

知識・技能及び資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
思考・判断・表現	【主体性】	自分で課題や問いを決めて、目的に合う方法で考えることができる。	自分で決めた課題や問いを、目的に合う方法で考え、計画を立てて解決することができる。
	【思考力・判断力】	じゅんじょよく考え、自分と友だちの考えの同じところやちがうところを見つることができる。	じゅんじょよく考え、自分と友達の考えを比べて分かりやすい伝え方を考えたり、いろいろな方法（分ける・つなげる）で考えをまとめたりすることができる。
	【表現力】	誰に、何のために伝えるかをいしきして、「なぜなら」「たとえば」などを使ってわかりやすく伝えることができる。	B+目的に合った自分の考えを、こんきよをもって相手にわかるように伝えることができる。
知識・技能		学んだことを身に付けている。	学んだことを様々な学習の中で活用している。

4 指導計画 (時間 本時 34/49) ♥三原だるまプラン:「ショック多発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
一 テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究 (19)	情報の収集 整理・分析 主 思 課題の設定 主 表 情報の収集	<p>○昨年度の取組について思考ツール等にまとめ、深町について何が分かっているかが分かっていないかを整理する。(3)</p>  <p>○深町にあるものについて考えることを通して、自分達が探究したいことを見つける。(3)</p> <p>仮の探究課題：深町のいいところを調査しよう。(深町魅力プロジェクトI)</p> <p>○ループリックを作成する。(1) ○探究について計画を立てる。(2) ○水辺教室を行い、ふじい川に住む生き物やふじい川について話を聞く。(2) ○水辺教室での学びをまとめ、次の計画を立てる。(1) ○西永農園に行き、深町の特産物である桃の魅力进行调查する。(2)</p> <p>情報収集 整理分析</p>  <p>西永農園の見学</p> <p>○西永農園での学びをまとめ、交流する。(1) ○2つのグループに分かれ、体験した深町の魅力をもとめ、全校児童に見てもらう。(3)</p> <p>○1学期の学習を振り返り、次の探究に生かせることを交流する。(1)</p> <p>表現・まとめ</p> <p>新聞づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップ ・Yチャート ・行動観察 ・新聞 ・OPP A

情報の
収集
整理・分
析

主 思

まとめ
表現

思 表

○1学期の振り返りをもとに、ルーブリックを更新したり、探究課題を設定したりする。(1)
♥深町には、まだ自分たちの知らない魅力がありそうだ！まだまだ知りたい！探検したい！

4年生 2学期 つけたい力 ★	
主体性	キーワード 自分で課題や問いを決めて、目的に合う方法で考え、計画を立てて解決することができる。
思考力	通んで じっくりよく考え、自分と友だちの考えの同じところやちがうところを見つけすることができる。
判断力	くらべる つなげる 難に、何のために伝えるかをいしきして、「なぜなら」「たとえば」などを使ってわかりやすく伝えることができる。
表現力	なぜなら たとえば 自分で決めた課題や問いを、目的に合う方法で考え、計画を立てて解決することができる。
知識及び技能	通んで じっくりよく考え、自分と友だちの考えの同じところやちがうところを見つけすることができる。

仮の探究課題：深町の魅力を調査しよう。(深町魅力プロジェクトII)

おさなごファームの見学

○今後の学習計画を立てる。(1)
○おさなごファームの畑を見学して、マスカットづくりについて学ぶ。(2)



○見学での学びをまとめ、新たにでてきた問いを調べる。(2)
○おさなごファームの方に新たな問いで解決できないことを聞く。(1)
○深町唯一のお菓子工房や深町の特産物である西条柿の果樹園を見学し、地域の特産物や地域の魅力について学ぶ。(2)



○見学での学びを交流し、今後の学習計画と目標を立てる。(1)
♥深町に長く住んでいる人でも自分達が調査した内容を知らない人がいるんだな！

真の探究課題：自分たちが調べた深町の魅力を発信することで、感謝を伝えよう！(深町魅力プロジェクトII)

→他学年や保護者、地域の方に魅力発信。また、深町以外の人にも深の魅力を知ってもらうための取組。



○みはら環境会議浮城の方に、魅力の発信の仕方にはどのような方法があるかを学ぶ。(1)
○教えていただいた発信方法のメリット・デメリット等を整理し、自分たちの目的に合う発信の仕方を決める。(2)
○魅力を伝えるために、どの内容を紹介するかを吟味して決める。(3)(本時(2/3))
○今までの取り組みを個やグループごとにまとめていく。また、新たに調査する必要がある場合は、調査に行く。(6)

- ・OPP A
- ・行動観察
- ・ワークシート
- ・行動観察
- ・ワークシート
- ・行動観察
- ・ワークシート
- ・行動観察
- ・XYチャート
- ・クラゲチャート
- ・行動観察
- ・ピラミッドチャート
- ・スライド

まとめ・表現

主
表
思

○作成した成果物を発表参観日で保護者や全校児童に発表したり，HPや地域の公民館，市役所，ラジオ等で発信したりする。また，他校の4年生とオンラインで交流することで地域の魅力を外部に発信する (予定) (4)



- ・ワークシート
- ・PMIシート
- ・スライド

	<p>学びのふりかえり～単元前の自分とくらべて，成長したことやまだおいしいところをふりかえろう～</p>
<p>しごうりよく 思考力 はんだんりよく 判断力</p>	<p>初めは，Bの「順序よく考える」ができていなかったと思うけど，二学期の総合を通して，順序よく考える，さらにAのまとめるもできるようになったと思うのでよかったです。でも，まだついてない力もあるので頑張りたいです。</p>
<p>ひょうげんりよく 表現力</p>	<p>初めは，Bの「なぜなら，たとえば」を使う」ができていなかったと思うけど，発表参観日を通して，スライドを作るときには，理由を書くがうなりました。と思います。なぜなら」などを書けるようになったからです。</p>
<p>しゆたいせい 主体性</p>	<p>初めは，Bの「自分で課題や問いを決め，目的に合う方法で考える」ができていなかったと思うけど，二学期の総合を通して目的に合う方法で考えるができたと思います。でも，自分で課題や問いを決めるができていないと思うので，まだ頑張りたいです。</p>

○本単元の学習を振り返り，自己の成長について発表し合う。(2) 【自己評価】
【相互評価】
○他学年の児童や保護者のコメントをもとに，本単元の振り返りを行い，自分達が取り組んできた価値について確認し，来年度の活動のために，成果や課題をまとめ，来年度につなげる。(2) 【自己評価】 【相互評価】 【外部評価】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

深町の魅力を伝えるためにどの内容を選べばよいか考える活動を通して、発信する内容を精選することができる。

(2) 子どもルーブリックでの評価規準（表現力のルーブリック）

B：事象を比較したり関連付けたりして、「なぜなら」「たとえば」などを使って分かりやすく伝えることができる。

A：事象を比較したり関連付けたりして、目的に合った自分の考えを、相手に分かるように伝えることができる。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ☆評価（評価方法） 本校で育成を目指す資質・能力の評価 （評価方法）
課題の設定 7分	1 前時までの学習を想起し、課題を設定する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちで調べた深町の魅力を発信することが、お世話になった人への感謝にもつながっているんだ。 発表参観日でスライドを使って保護者や全校児童に伝えるんだ。（予定） 魅力をより伝えるにはどの情報にしたらいんだろう。 </div>	○本時の課題を確認する際に、めざす学習のゴールに対する本時の位置付けを確認できるように学習リーダーに言葉がけをする。 ○想起しやすいように前時までの学習に関するスライドを示す。 ○本時の課題を確認した上で、探究の過程と主に育成をめざす資質・能力を設定する。
	2 探究の過程、本単元で育成をめざす資質・能力を確認する。 ・整理・分析、表現力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">深町のみ力を伝えるために、どの情報を伝えるか、伝えないかを選ぼう。</div>	
整理・分析① 15分	3 情報を焦点化し価値付ける。（個→ペア） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">ピラミッドチャートを使って考えよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>おさなごファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスカットのおいしさを伝えたい。わけは、すごくおいしかったし、おいしさを伝えることで食べてみたい・買ってみたいと思ってもらえるから。 ・マスカットの値段は伝えなくて良いと思う。わけは、値段を伝えても魅力には繋がらないと思うから。 </div>	○前時までに整理した情報をジャムボードに提示し、すべての情報をピラミッドチャートへ配置する。ここから魅力が伝わると思うものを上段へ、この情報は魅力に繋がらないものは枠外へ動かしていくことで焦点化して考えられるようにする。 ○話し合う時は必ず根拠をもとに話をする。ここで、何のためにその情報を伝えるかを明確にする。
整理・分析② 15分	4 全体で意見を交流し、整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">グループで考えた意見を見て、どの情報を伝えるか、考えていきましょう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、平さんの思いを伝えることは賛成です。わけは、作っている方の思いを聞くことで、行ってみたい・食べてみたいに繋がるからです。 </div>	○意見がでないときや根拠がわからないときなどは、「この意見はどうして上の位置なの?」、や「どうしてそう考えたの?」等、教師が支援することで考えの根拠が明確になるようにする。 ○「だれに」「何のために」「伝える人にどのようにしてもらいたいか」を確認することで、目的に合った話し合いができるようにする。 ☆考えを比較したり、関連付けたりして理由や根拠を考え表現している。 (行動観察・発表・ジャムボード・OPPA)

まとめ・ふりかえり 8分	5 本時の活動について振り返り、学習したことをまとめる。 課題を達成する中で、今日学んだことは何ですか。振り返りを書いて交流しましょう。	○ピラミッドチャートを使った活動を通して、どのような学びを得ることができたかを振り返る。 ○「振り返りのヒント」を活用することで、①本時の学習についての学びや②資質・能力について等の2つの視点を見童に選択させて、振り返りを書かせるようにする。 ○振り返りを交流することで、自分たちの新たな学びを理解し、自分(たち)の学び方のよさを実感したり、これからの学びに生かそうとしたりする。
	・伝える情報を選ぶには、伝える相手がどのように思うかを考えて選ぶことが大切。 ・今日考えたことをもとに次からスライドづくりをしていきたい。 ・前は、自分の考えをもったり理由を付けて発表したりすることができなかったけど、今日は自分の考えを理由と一緒に発表することができるようになった。 ・〇〇さんの～という考えは、自分にはなかったのよかった。 ・思考判断力の～まで、できた。次は～ができるために～をがんばりたい。 ・今日のピラミッドチャートを使った思考ツールをまた違うときにも使ってみよう。	

深町魅力プロジェクト

10/31 整理・分析 表現力

① 深町のみ力を伝えるために、どの情報を伝えるか、伝えないかを選ぼう。

見通し

① 考えをわける。
 (どうしてそこに動かしたかが大切)
 ② ペアで意見を交流する。
 ③ 全体で意見を交流し、選ぶ。
 ④ ふりかえり

① だれに? →全校児童、保護者、地域の方、外部の人
 ② 何のために? →深町の魅力を知ってもらうため。
 →そのために、自分たちが調べた深町の情報を紹介。
 ③ どう思ってもらいたい?
 聞いてくださった方:「行ってみたい。食べてみたい」「深町に住んでいてよかったな。」
 お世話になった人:わかりやすく伝えてくれてうれしい。たくさんの人に来てもらいたい、食べてもらいたい。

